



The service club to the YMCA
 THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
 西宮 YMCA 内
 Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2016年5月会報 第332号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) ウィチャン・ブーンマハシジョン (タイ)

主 題: " Mission with Faith "

「信念の有るミッション(使命・目的)」

アジア地域会長(AP) エトワード ケータブリュー オンガ(シンガポール)

主 題: "Through Love Serve

「愛を持って奉仕をしよう」

西日本区理事(RD) 遠藤 通寛 (大阪泉北)

主 題: 「あなたならできる! きっとできる」

“ You can do it! Yes, you can! ”

標 語: 「-生きる しなやか さわやか-」

- Live flexibly and refreshingly -

六甲部長 進藤 啓介(神戸)

主 題: 「YMCAと共に」

《人を育み・地域に仕え

宝塚クラブ会長 鯖尻 佳子

主 題: 「楽しい例会で素敵な交流の輪を広げましょう!」

今月のテーマ :LT(指導者訓練)

わたしたちに必要な糧を今日与えてください。
 (マタイ6章11節)[主の祈り⑤]

2016年5月例会

日 時 : 2016年5月11日(水)18:30

場 所 : 宝塚ホテル ゴールドの間

会 費 : 会員 3,100 円、会員外 3,500 円

ドライバー 武田寿子 澤田 郁

開会点鐘 鯖尻 佳子会長

ワイズソング 全 員

聖書朗読 加藤光信

祈 禱 吉田 明

ゲスト・ビジター紹介

会長報告・委員会報告

会 食

お 話 稲岡 大介 氏

「ハンマーダグシマーとの出会い」(仮)

誕生日のお祝い

閉会点鐘 鯖尻 佳子会長

2015/16 役 員	会 長 鯖尻佳子 直前会長 杉谷和代 副会長 福田宏子、杉谷和代 書記 若林成幸 会 計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 メネット連絡 今田和子 連絡主事 谷川 尚 六甲部メネット事業主査 福田 素子
事 業 委員長	Y M C Aサービス・ユース 福田 宏子 地域奉仕・環境 多胡 葉子 EMC 長尾 亘 交 流 石田由美子 ファンド 武田寿子 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 加藤光信 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	長尾 亘(5月7日) 鯖尻佳子(5月23日) 桑田勝弥(5月28日) 井上 聖(5月30日)
4 月 実 績	例会出席者数 22名 在籍会員数 21名 出席会員数 13名 出席率 61.9% メイクアップ(内数) 1名 メネット 1名 コメント0名、ゲスト・ビジター8名 BFポイント 4月 3,387円 累 計 36,223円 にこにこBOX 4月 0円 累 計 10,768円 ファンド(物品販売) 86,118円 累 計 75円

4月第1例会報告

4月13日(水)午後6:30～宝塚クラブ第一例会が宝塚ホテルゴールドの間で開催された。ゲスト8人を含み21人の出席。

ドライバーは杉谷メン、鯖尻会長の開会点鐘、ワイズソング斉唱、福田メンの開会祈祷で定刻に始まった。

今月のゲストスピーカーは宝塚在住で万葉集講座人気講師の細川佐和子氏。

スピーカーの紹介をしてくださったのは、石田メンの友人で以前にはスピーカーとして、またその後スピーカーの紹介をして下さったり、例会や、バザー、キャロルの夕べなどへ何度も参加して下さっている強力なメンバー候補の一人であるチップス先生こと柴田浩さん。そして今日のゲストのほとんどが柴田さんの関係者の方々である。

ゲストスピーカーの細川先生からは「三輪山への鎮魂の歌」～額田王～の演題で我々は万葉の世界に引き込まれた。

先生は「萬葉集」大和要図を示され、その地図を見ながら解説。そして我々は古代の大和の風景、歴史の中の女性歌人の額田王の気持ちを思いながら聞き入った。



「三輪山への鎮魂の歌」は近江に都を移す決意をした中大兄皇子について大和から近江へ下る時に額田王が惜別の情を三輪山に向かって歌った歌とのこと。

万葉集は黙読するのではなく声を出して、額田

王の気持ちになって歌いましょうとその鎮魂の歌を全員で歌った。

万葉と言えは阪大の犬養孝先生が浮かぶのは我々の世代。半世紀以上も前の学生時代に犬養先生の講座を一年間受講された堀江メンが、犬養節で「三輪山を しかも隠すか 雲だにも情けあらなも 隠さふべしや」を朗々と歌われたのには全員大拍手！ 今日の万葉講座が一層格調高くなりました。

報告事項は加藤メンから5月のバザーの件、石田メンからは西日本区大会への登録の件、谷川主事からは神戸YMCAの新年度の新たなあゆみ、と人事などに関する件の報告があった。4月のお誕生日の方はなかったので、会長の閉会点鐘となり終了。

今月はファンドの豚肉の月、10ケースは順調に売れ5,000円が計上できた。

多胡葉子

4月第2例会報告

4月20日(水)18時30分から宝塚西公民館会議室において4月第2例会を行った。出席者は、鯖尻会長、石田、加藤、杉谷、多胡、武田、長尾、吉田、堀江、若林各メン、谷川主事の12名と、バザー応援打ち合わせのため西宮YMCAから阪田氏及びリーダーの中島・大下・阪田・太田さんが参加した。議事要旨は次の通り。

1. 会員異動について

会長から、坂田メンから退会の申し出を受けた旨報告があり、氏の職務上の実際からワイズ活動の継続が困難であることを理解し、6月末日付けでの退会を承認した。将来、再入会を期待している。

また、今田メンは自宅療養中で、氏の希望を受け入れ、7月から功労会員とする。

2. 次期事業委員会及び特別事業委員会について

各事業委員会の構成を協議し、次の通り承認した。

役員	事業委員会 及び 特別事業委員会		
会長 若林	Yサ・ユース	多胡	重松、桑田、青柳
副会長 多胡	CS・環境	福田宏	水谷、井上
書記 武田	EMC	杉谷	長尾
会計 吉田	交流	石田	沢田
〃 堀江	ファンド	堀江	福田肇
直前会長 鯖尻	広報ブリテン	長尾	吉田、堀江、鯖尻
連絡主事 谷川	NGO協議会	鯖尻	堀江
会計監査 加藤	じゃがいも	福田肇	吉田、長尾、堀江
ネット連絡 福田素子	バザー	多胡	加藤、青柳、水谷、福田、鯖尻
	クリスマス	若林	吉田、多胡、長尾

3. 5月例会の運営について

ゲストに稲岡大介氏を迎え、ハンマーダルシマー(中近東発祥の民族楽器、打弦楽器の一種)の演奏とお話を楽しむ。

4. バザーの運営について

加藤メンの進行で、準備日(5/19,20)の当番、仕事内容・会場使用にあたっての注意事項を確認し、バザー当日(5/21)の運営方法を協議した。YMCAリーダーも10名余の参加が見込まれ、ステージコーナーの運営、蚤の市・食事コーナーへの応援態勢を検討した。

●準備当番表(午前10:00~13:30、午後13:30~17:00)

	5/19(木)	5/20(金)
午前	多胡、今田和子、石田、青柳、加藤、福田素子	堀江、今田、青柳、今西、加藤、井上みえ、吉田
午後	多胡、加藤、水谷、石田、青柳、杉谷、今田、福田素、福田洋子、福田肇	多胡、今西、石田、杉谷、加藤、鯖尻、堀江、青柳、福田肇、福田素、吉田、井上みえ、福田宏

注)クッキー:ネタ作り(若林メン)、焼きあげ(武田メン)

包装(別途)

●バザー当日役割(開始11:00~終了14:00)

	区分	責任者	委員
1	統括	加藤	
2	食事コーナー	青柳	鯖尻、福田素子、森田紀子、石田聖子、川副トシ子、山本真琴、リーダー
3	蚤の市 コーナー	多胡	杉谷、長尾、福田宏子、水谷、今田和子、桑田、井上みえ、今西時子、リーダー
4	ステージ	阪田	リーダー、堀江、福田肇
5	会計	吉田	

5. 西日本区大会(6/25~26)の参加登録

宝塚クラブから9名が早期参加登録を済ませた。後日送達の手申確認書(請求書)を確認した上で、登録料をクラブ単位で取り纏め振り込む。窓口は石田メン。5月31日まで。

6. その他

①東京多摩地区に多摩クラブ設立

東京まちだクラブがスポンサーとなって新クラブが設立される。設立総会は5/22の予定。

②2016年BF代表来日

6/2~下旬に、チリ・サンチャゴから来日の予定。

TC石田メンが滞在中のスケジュールを調整。

宝塚クラブも応分の協力を予定する。

③熊本地震被災者救援募金

神戸YMCAでも対応準備中。バザー開催時にリーダーの協力を得て、逆瀬川駅周辺で募金活動を計画する。

④5/7大阪サウスクラブ60周年記念例会

鯖尻、杉谷、石田メンが参加予定。

若林 成幸

《稲岡大介氏 プロフィール》

1979年生まれ。川西市出身、伊丹在住。作曲家。
4歳からピアノを始める。2000年作曲家デビュー。
オーケストラへの楽曲提供、
伝統音楽、クラシック曲、ポピュラー曲等のアレンジも行い、斬新な切り口で音楽を表現している。



会長報告

4月14日熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災者の方々への支援が一刻も早く行われることをお祈り申し上げます。度重なる余震でどんなにか不安で怖い毎日を送られているかと思うと胸が痛みます。今から21年前、阪神淡路大震災で神戸から我が家に避難してきた姪のことを思い出します。道路が震災で通れるところが限られていて大変な思いをして神戸から豊中までやってきました。3歳幼児と生まれて3か月乳児を抱えてきたことを昨日のように思い出します。姪は「ここはテレビが点いている！」の一言に改めて神戸での情報が無かったことに気づきました。毎日二人で震災の情報をテレビで見て今神戸では友達はどうしているのだろうかととっても心配していました。

パイプ椅子でSOSのメッセージを送っていた方々。本当に情報が必要とされている人たちに一日も早く手助けの届けられますように願ってやみません。西日本区の遠藤通寛理事からの緊急支援の案内文が着ております。私達宝塚クラブからも支援をと思っています。皆様どうぞ宜しくお願い致します。

鯖尻 佳子

ワイズメンクラブを退会するにあたり

宝塚の「花の道」でもそれぞれの花々が美しさを誇る一年でも最も新しい生命の躍動を感じる季節になりました。ワイズメンの皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。アジアから日本に居住のベースを4年前に移してからしばらくしてワイズメンに入会させていただきましたが、帰国当時に予想していた状況よりはるかに多忙になり、海外、国内での出張が増加し例会にも出席出来ず忸怩たる思いをもっておりました。何の貢献も出来ずに退会することになり申し訳なく思っております。今回退会するに際して寄稿のご依頼がありました。機会をいただきましたので、日頃感じていること、思っていることを以下申し上げたいと存じます。

日本は少子高齢化など直面する問題は多くありますが、日本ほど物質的に豊かで自然が美しい国はないと思います。安全安心面でも世界で群を抜いて優れています。しかし私は日本のこれからは政府が推進している経済成長ではなく、心の豊かさを目指す成熟した国にパラダイムシフトしていく必要があるように思います。教育、経済などの格差が拡大するNational Divideが現代社会の大きなチャレンジとして浮上していますがそのような社会で最も必要なことは恐らくそれは「人と人の絆」だと思います。お互いに支え合う心優しい社会を我々は構築できるかどうか問われています。日本人は知的レベルが高く、極めて優秀な国民ですが、現代の日本社会を見ると思想、信仰、哲学を含む高い精神性の崩壊が極めて深刻な状況にあるのではないかと危惧しています。親子の関係、学校教育の知識偏重、学校／企業選択におけるブランド指向など表層的で画一的な価値観が人生を支配していること、人間としての最も根源的に大切な何かが、仮にそれをXと呼ぶならば、そのXが見失われているような気がしてなりません。「日本には生活はあるが、人生がない」と表現出来るかも知れませ

ん。このような同時代の社会の中でワイズメンクラブは X を大切に作る貴重なグループとしてその存在と高潔なる使命に基づく行動力が更に発揮されんことを願っております。

末筆になりましたが、皆様がたのご健康とご活躍をお祈り申し上げて退会のご挨拶といたします。

坂田昌鴻

歌っていると女子生徒の一人が気付いて目を合せてくれました。ありがとう！

石田由美子

神戸ポートワイズメンズクラブ・ チャリティコンサート報告

2016年4月16日(土)14時から、東日本大震災支援として日本基督教団神戸聖愛教会で開催されました。プログラムは、「箏とフルートの調べ」で

和洋楽器の素晴らしいコラボで始まり、神戸YMCAの東日本大震災復興支援プログラムで



ある福島の子供達を招いての「I'm a partner Camp」の報告がYMCAスタッフ、啓明学院ボランティアのみなさんからありました。大きな学びが与えられたユースの輝く笑顔が印象的でした。

最後のパートは県立長田高校音楽部の混声合唱です。元気で力強い、そして爽やかなコーラスは聖愛教会の礼拝堂が吹っ飛ばす位の迫力でした。歌は勿論、指揮、ピアノ伴奏もレベルの高さを見せてくれました。

アンコールの後、会場を後にする参加者をお見送りする最初の曲が「サリマライズ」。

「我がもと離れ去りゆける、懐かしい友よ・・・」、中高生の頃、ワークキャンプや余島キャンプで歌った思い出一杯の曲です。周りが段々空席になって来たにもかかわらず、そのまま立って最後まで一緒に

【今月のみ言葉】

必要な糧を願い求めるこの四つ目の祈願から、これまでの「汝祈願」に代わって「我ら祈願」が始まります。ここまで御名、御国、御心に関わる高尚な祈りが続いてきたのに対して、ここで突然、食べ物を求める祈りが出てきて、祈りの内容が急に俗っぽくなることに少なからず違和感を覚えるという方もおられるかもしれません。しかしよく考えてみると、日々の食物が与えられることを願うことは、別段卑しいことではなく、むしろ極めて自然であることに気づかされます。事実、主の祈りは、他の公的な場での祈りのようによそ行きの言葉(ヘブライ語)で唱えられたのではなく、当時の民衆が日常的に用いていたアラム語で唱えられたのですが、その意味でもこの祈りは、私たちの日常生活そのものに関わるものであるわけです。

もともと、この食物を求める祈りは、しばしば飢饉に見舞われていた古代のパレスチナ地域の極めて困窮した社会状況の中から生まれたものであり、今日の日本の状況には適合していないように思えるかもしれません。確かにその点は否定できませんが、しかしだからといってこの祈りの意義が消滅したわけではなく、現在もこの地上で多くの人々が飢餓状態にあることを覚えるなら、この祈りは時代遅れなどとは決して言えないわけです。主の祈りが個人的な祈りではなく「共同の祈り」であることを今一度覚え、切実な思いをもって日々この祈りを唱えていきたいと思えます。

嶺重 淑

YMCA だより



熊本地震は熊本YMCAが活動する区域に大きなダメージを与え、熊本YMCAも全国のYMCAも救援活動に奔走しています。ぜひ遠方にあってもお祈りに加えていただくようお願いいたします。

1. 第32回タイピースワークキャンプ

3月21日(月)から3月30日(水)までタイワークキャンプが行なわれました。

今年は日本から5名、ミャンマーから2名、ラオスから7名、タイから6名の計20名のキャンパーが参加して、タイ王国ランブーン県ヴァイアンノンロング郡のバントンプンスクールで子どもたちや村の方々と交流・手狭になった教室の拡張、教室の床のタイル張りをキャンパーたちと協力してワークを行ないました。

キャンパー達はこのキャンプの中で色々な経験・体験・出会いなどで学びを深める事が出来たと思います。なお、今年度は参加者が少ないため、ワイズでの報告は遠慮させていただき、YMCA会員総会で報告をさせていただきますので、ぜひご参加ください。

2. 神戸YMCA創立130周年記念日礼拝

130年前、諏訪山で熱き思いを持った若人により神戸YMCAが創立された5月8日の日を覚えて、創立記念日礼拝を行います。どなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください。

日時:5月8日(日)16時より。

場所:日本キリスト教団神戸教会

内容:菅根信彦牧師によるメッセージ

「原点に立ち返って」、礼拝後お茶会あり
申込不要です。

3. 私たちの憲法をする集い vol.6

毎日放送報道局の坪井さんのお話を伺いながら、過去から現在までの神戸の姿を見直し、今と未

来の平和について考えたいと思います。

日時:5月20日(金)18:30~20:30

場所:神戸市青少年会館(三宮駅より徒歩5分)

(神戸市中央区雲井通5-1-2)

参加費不要、申込は神戸YMCA国際・奉仕センター(078-241-7204

Email:houshi@kobeymca.org)まで

4. 2016年 神戸YMCA 定期総会

神戸YMCAに連なる3法人の活動報告と新年度の歩みを確認する定期総会を下記のように行います。総会構成員の方は是非ご参加ください。

日時:5月31日(火)18時30分より。

場所:神戸市教育会館 大ホール

議事:1.常議員・監事選任について

2.2017年度定期総会日程変更について

報告:1.2015年度事業活動概況

・2016年度事業方針

2.監事報告

3.ボランティア奨励賞

総会構成員の方には後日案内をお送りします。

5. 熊本地震緊急支援募金のお知らせ

2016年4月14日以降、熊本県内で立て続けて発生している地震により多くの方が避難生活を余儀なくされています。

熊本YMCAが指定管理を受け運営を行っている益城町運動グラウンドでは県内最大と言われる1000名を超える方が避難をされており、熊本YMCA職員は被災者でありながら支援をし続けるという状況で、全国のYMCA職員の応援を得ながら今後続く復興への道を模索しています。

神戸YMCAからも4月19日より複数の職員が阪神淡路大震災の知見も生かした支援を行おうと現地に入って対策をともに検討しています。

長期化しそうなこの震災に対し、4月16日より支援募金を開始しています。各YMCAでの募金箱以外にも、インターネットでできる募金も開設しましたので、ぜひ広く支援をいただきますようお願いいたします。

<http://kifu-kobeymca.org/fund/kumamoto/>